

平成28年度第11回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成29年1月23日（月）13時00分～14時00分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	津曲 隆
事務局長	仁木 徳子
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	黄 在南
アドミニストレーション研究科長	宮園 博光
地域連携・研究推進センター長	堤 裕昭
学術情報メディアセンター長	村尾 治彦
TKU みんなのニュース解説委員/熊日調査役	平野 有益
崇城大学教授・九州大学名誉教授	山田 耕路
熊本県公立高等学校長会長	川上 修治

事務局：本田事務局次長、多田隈教務入試課長、坂本学生支援課長、前田総務課長、花村企画調整室長、福島地域連携・研究推進センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、教務入試課築地班長、同課福永班長、同課松本参事

1 開会（進行：本田次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：半藤学長）

（1）審議事項

① 教員の採用について

事務局総務課から、資料1-1に基づき、これまでの経緯等について「第8回教育研究会議時に採用条件を一部変更して再公募を行う旨報告をしていたもの。」等との説明があった。続いて松添環境共生学部長から資料1-3に基づき、「実践栄養教育学（学長裁量枠）の採用人事について、再公募に対して2名の応募があった。環境共生学部内で選考手続きを進め、2名とも候補者として面接審査を行い、今回1名の候補者を選定した。平成29年4月1日付けで講師として採用していただきたい。」との説明があった。

続いて、全学資格審査委員会議長である津曲委員より、資料1-2に基づき、「実践栄養教育学の採用予定者は講師での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、全て案のとおり承認した。

② 平成29年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「平成29年度非常勤講師の採用について、各学部及び研究科から推薦があったので審議をお願いする。今回、審議をいただくのは104科目の講師である。第10回教育研究会議に審議をお願いした講師と合わせると、140名、306科目になる。今回審議できなかったものについては2月

以降に御審議をいただき、採用手続きを行う予定。」との説明があった。  
審議の結果、案のとおり承認した。

③ 3つのポリシーの見直しについて

事務局教務入試課から、資料3に基づき、「学校教育法施行規則の一部改正を受けて、平成29年4月1日の施行日までに策定及び公表が求められている『卒業の認定に関する方針』、『教育課程の編成及び実施に関する方針』及び『入学者の受入に関する方針』について、ガイドラインに基づいて点検を行い、現行のポリシーでは示されていない部分を中心に見直しを行ったので審議をお願いするもの。」との説明及び具体的な見直し箇所について説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

事務局教務入試課から次のとおり報告があった。

- ・大学入試センター試験について（平成29年1月14日、15日実施）  
「県内で7,064名の志願者があり、本学に930名の割り当てがあった。両日とも試験は予定通りに開始、特にトラブルはなく無事終了した。」
- ・熊本地震に係る授業料等の減免について  
「熊本地震により、居住する家屋が半壊以上の被害を受けた学生や、家計急変等により授業料の納入が困難となった学生に対しては、被害の程度に応じて授業料の全額又は半額を免除する措置をとり、これまで79名の者に対して授業料の減免を行っている。また同様に、熊本地震により被害を受けた、本学への入学を希望する受験生に対しては、入学者選 hands 手数料及び入学金の減免を行っており、今年度募集を行った学部及び大学院の入試において、これまでそれぞれ10名の者に対して減免を行っている。」
- ・協定の締結について  
「2つの大学とそれぞれ協定を締結した。1つ目が、アメリカのチャタム大学との学術交流協定。チャタム大学はアメリカのペンシルベニア州ピッツバーグにある学生数2100人の大学で、昨年11月29日に半藤学長出席のもとチャタム大学において協定を締結した。2つ目が、福岡女子大学との日本語日本文学分野における学術連携協力に関する協定。福岡女子大学は福岡市東区にある学生数1000人余の公立大学で、1月19日に本学において協定を締結した。」

(3) その他 意見交換

4 その他

次回日程 平成28年度第12回2月20日（月）午前10時～本部棟2階大会議室

5 閉会